

2026年2月15日(日) 海上釣堀 あなたに逢い鯛
私 マダイ6尾 ワラサ1尾 シマアジ1尾 イサキ1尾
ツレ マダイ7尾 シオ(カンパチ)1尾

友人3人、ツレ、私

【仕掛け】

浮き釣り

浮き止め糸2個、シモリ玉、浮きをつなぐスナップサルカン、
からまんピンM、クッション錘、

浮き:3号 クッション錘:2.5号 2.5mm 15cm

「スナップスイベル・ハリス・鉤」

ハリス フロロ4号 1m 伊勢尼10号

ガン玉なし(本来なら鉤上30cmに0.5を付けるべき)

脈釣り

リールにはPEライン1号(1.5号?)にリーダー4号1mが結んである。その先にスナップサルカンがついている。

ここに、「スナップスイベル・ハリス・ガン玉・鉤」を付けた

ガン玉は2号、0.5号を使った。使用する餌により位置と重さを調整する。

※「スナップスイベル・ハリス(フロロ4号1m)・伊勢尼10号」 一人3セットと、バラの鉤約10本

※棚取り錘

【竿・リール】

浮き釣り:ツレ用

竿 海上釣堀 赤物RX 5号3m 自重251g

リール スピニングリール PEライン1.5号

浮き釣り:自分用

竿 海上釣堀 赤物RX 5号3.5m 自重303g : 買ったばかりなのに竿先を折ってしまった。

リール スピニングリール PEライン1号

脈釣り

竿 海上釣堀 Metalさぐり 3.5m 自重177g 新規購入

リール:PEライン1号、リーダー4号1m

【餌】

赤色の団子(火山) 黄色の団子(黄龍)

キビナゴ(青):青物用

ツレの自作餌(アルゼンチンエビ) 二刀流(エビ餌):次回、ツレの自作餌があるので不要

【様子】

○風の無い、暖かな一日だった。

○イケスの大きさは10m四方。深さは中央10m

【棚】

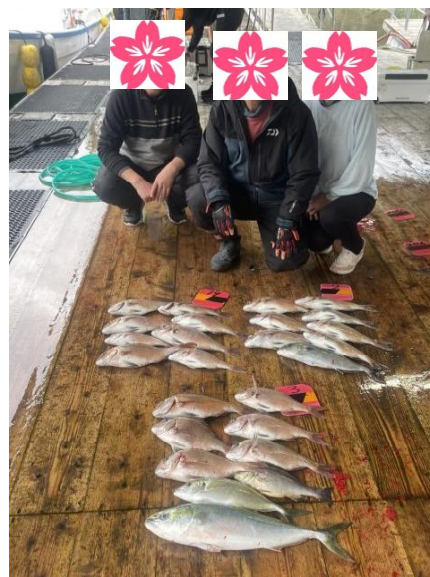
○タイは終日、底から50cmだった。

○青物は底から2.5m~3mだった。

○青物が放流されてすぐに、隣の生け簀で青物が釣れたようで「底から2.5m」という声が聞こえてきた。

仕掛けをすぐに底から2.5mに合わせた。ほどなくしてワラサが掛かった。

○青物放流から時間が経ってからツレが青物狙いで、底から3mのところで仕掛けをセット。シオを釣っ



た。

○友人が釣った青物の棚は、底から3mだったようだ。

○自分が釣ったシマアジ、イサキの棚は底から50cmだった。

○自分がイサキを底50cmで釣ったと聞いた友人が、同じ場所でイサキを2尾釣った。

【誘い】

○少し待って当たらなければ、誘いを掛ける。

横に誘う: 竿先を揺すりながら横に移動させて止める。止めているときに当たる。

青物の場合、移動させているときに、いきなり当たる。

縦に誘う: 竿先を三段に分けてゆっくり持ち上げた後、錘より先に餌が落ちていくイメージでゆっくり下げる。

○キビナゴ(青)でルアーのように泳がせるとき、狙いの棚より50cmくらい深いところで竿を動かす。動かすことで、餌が浮き上がるため。

【ネットでの事前研究】

①朝一番は前日の釣り残りがいて、活性が上がっている。黄色の団子がよい。

→ 今日はずレが赤色の団子からスタートしたので、自分は色を変えて黄色の団子でスタートした。

黄色の団子で釣れたので、ずレも黄色の団子を使った。朝一番は黄色の団子でよく釣れた。

②当たりが遠のいたら餌を変える。

③棚が10cm違うだけでも釣果が変わる。

<以前の記録から>

→ ずレは当たりがないと感じたら、餌を変えたり、棚を変えたりしたとのこと。

棚を変えるときには、5～10cmだったとのこと。

→ 終了1時間前、ずレが棚を変えて釣っていたと聞いて、自分も棚を変えようと考えた。根掛かりが心配だったが、10cm仕掛けを下げた。加えて、赤団子でずレが釣ったということから、この団子を使うことにした。これで当たるようになった。赤団子で釣れなくなったので、棚はそのままにして黄色のエビの切り身に変えた。また、当たるようになった。10cmの棚の変化で当たりが変わることを実感した。